

第63期 報告書

2024年4月1日 ~ 2025年3月31日

# HEPHAIST

それは価値を創造する個性ある集団です。

ヒーハイト株式会社

証券コード：6433



## 第64期経営方針

『persist』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第63期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に概ね堅調に推移しましたが、不安定な国際状況や為替相場の動向、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、中国経済の停滞、米国の政権交代に伴う政策転換など、依然として景気の下振れリスクが続いております。

このような状況のもと、当社グループは「スマート生産」「稼働率の平準化」「直動機器の製品力強化」「精密部品加工の売上確保」及び「ユニット製品の販路拡大」を今後の重点施策とした「中期経営計画Hephaist Vision65」を掲げ、中長期視点での成長と利益確保を目指して継続的に取り組んで参りました。

また、中期計画に必要な設備投資を実行し、各設備の生産能力を生かした生産計画を立て、計画どおりに出来高を達成していく「スマート生産プロジェクト」のもと、適正な在庫金額を考慮しながら生産性を強く意識した直動機器の効率的かつ安定的な生産と、それによる原価低減に取り組んで参りました。さらに、市場シェアの低い形番の生産増強による直動機器のシェア拡大、レース用部品の継続供給、高寸寸法を抑えた軸短タイプ球面軸受を市場投入するとともに、電力費削減をはじめとしたコスト削減に取り組んで参りました。営業面では、マレーシアのMIRAI INDUSTRIAL AUTOMATION (M) SDN BHD社とパートナーシップ契約を締結し、ユニット製品の技術的な相互補完を行うことでマレーシア市場の販路開拓を開始し、経営方針「不易流行」を実践して参りました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は2,245,026千円（前年同期比2.8%減）となりました。

利益面につきましては、固定費等の増加、及び直動機器の売上高低下により、営業損失121,495千円（前年同期は、営業損失158,653千円）、経常損失189,781千円（前年同期は、経常損失156,970千円）、親会社株主に帰属する当期純損失203,461千円（前年同期は、親会社株主に帰属する当期純損失221,824千円）となりました。

直動機器につきましては、需要回復の遅れや中国市場からの受注停滞が継続したこと等の影響を受け、当連結会計年度の売上高は1,365,679千円と前年同期と比べ226,109千円の減少（前年同期比14.2%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の売上が増加したことにより、売上高は680,590千円と前年同期と比べ150,876千円の増加（前年同期比28.5%増）となりました。

ユニット製品につきましては、半導体製造装置の生産設備や自動車生産設備の増強案件に対応したことでステージ製品の売上が増加してきたことに加え、中国市場における医療用分析機器及び情報通信機器の製造装置向けに球面軸受の売上が増加してきたことにより、売上高は198,756千円と前年同期と比べ9,858千円の増加（前年同期比5.2%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体需要の高まりや人手不足に伴う自動化に向けた設備投資の増加などにより、経済活動の正常

化に向けた動きは継続していくものと想定されます。一方で、不安定な国際状況や、エネルギー価格や原材料価格の高止まりなど、不透明な状況が継続することが予想されます。

このような状況の中、自動化関連の需要に向けて、強化した生産設備の生産能力を生かした直動機器のスマート生産を引き続き実践し、生産の増強及び販売の拡大を図って参ります。また、エネルギー価格や原材料価格の高止まりなどの影響により利益率が低い形番のスクラップ・アンド・ビルドを実行することで、成長性が高い製品に経営資源を注ぎ、収益力の向上や安定収益構造への変革を図って参ります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

また、人件費、原材料費、エネルギーコストの上昇等、厳しい事業環境が続くことが想定されます。

当社グループは、このような事業環境の中で、中期経営計画『Hephaist Vision65』の達成に向け、財務面を中心とした管理部門との連携強化による固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

主な重点方針は以下のとおりであります。

- ① 固定費・変動費の削減による収益の向上
- ② コスト削減による利益率の改善
- ③ 球面軸受の製販強化
- ④ 直動機器の選択と集中による利益改善
- ⑤ 新規レース用部品の加工対応

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化及び将来にわたる安定した株主利益の確保のため、事業の拡大・合理化投資及び厳しい経営環境に勝ち残るための新技術・新工法開発のために有効活用していきたいと考えております。

この方針のもと、当期の配当につきましては、1株当たり1円の配当とさせていただきますことになりました。

次期の配当につきましては、1株当たり年間2円とする予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月



F4 レース車両を当社の1階ロビーに展示しております。

## ■ 新製品リリース「球面軸受 (SRJ) の軸短タイプ」追加

転がり案内方式の球面軸受 (SRJ: Spherical Rolling Joint) は、世界でヒーハイトのみが製品化しており、装置のテーブル面や軸の傾き調整など、微小な角度を精度良く追従させたいという国内だけでなく海外からの問い合わせも多くいただいております。この度、ニーズの高まりの中で装置全体の高さを抑えたいという要望に応えるべく、軸短タイプのラインアップを追加しました。

また、表面処理やグリース封入の選択自由度を上げることにより対応できる環境を拡げ、付加価値を向上しております。

今後もお客様のニーズに応えながら更なるシリーズラインアップ拡充を図るとともに、アジア市場を中心とした海外への販売展開の推進を図り、2026年度にはシリーズ全体売上で2億円を目指します。



4月のOPIE'25展示会でも多くのお客様に関心を持っていただきました。

## 連結財務諸表 (要旨)

### 連結貸借対照表 (単位: 千円)

科目	63期 2025年3月31日	62期 (ご参考) 2024年3月31日
資産の部		
流動資産	2,394,514	2,729,047
固定資産	2,613,055	2,654,398
有形固定資産	2,284,053	2,339,469
無形固定資産	7,175	10,801
投資その他の資産	321,825	304,128
<b>資産合計</b>	<b>5,007,569</b>	<b>5,383,445</b>
負債の部		
流動負債	859,505	1,070,079
固定負債	1,329,427	1,294,962
<b>負債合計</b>	<b>2,188,933</b>	<b>2,365,042</b>
純資産の部		
株主資本	2,777,591	2,987,291
その他の包括利益累計額	41,044	31,112
<b>純資産合計</b>	<b>2,818,636</b>	<b>3,018,403</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,007,569</b>	<b>5,383,445</b>

### 連結損益計算書 (単位: 千円)

科目	63期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	62期 (ご参考) 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	2,245,026	2,310,401
売上原価	1,911,132	1,994,464
売上総利益	333,894	315,937
販売費及び一般管理費	455,389	474,590
営業損失 (△)	△121,495	△158,653
営業外収益	9,367	11,321
営業外費用	77,654	9,638
経常損失 (△)	△189,781	△156,970
特別利益	—	1,050
特別損失	8	190
税金等調整前当期純損失 (△)	△189,790	△156,110
法人税、住民税及び事業税	3,534	5,158
法人税等調整額	10,137	60,555
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△203,461	△221,824

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 千円)

科目	63期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	62期 (ご参考) 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	△183,386	166,302
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△51,723	△322,712
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△99,475	171,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,839	5,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△325,746	20,449
現金及び現金同等物の期首残高	884,911	864,462
現金及び現金同等物の期末残高	559,165	884,911

### 連結株主資本等変動計算書 (単位: 千円)

63期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	732,552	701,432	1,568,722	△15,416	2,987,291
当期変動額					
剰余金の配当			△6,237		△6,237
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△203,461		△203,461
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△209,699	—	△209,699
当期末残高	732,552	701,432	1,359,023	△15,416	2,777,591
その他の包括利益累計額					
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	純資産合計	
当期首残高	199	30,912	31,112	3,018,403	
当期変動額					
剰余金の配当				△6,237	
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)				△203,461	
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	△297	10,230	9,932	9,932	
当期変動額合計	△297	10,230	9,932	△199,766	
当期末残高	△98	41,142	41,044	2,818,636	

#### 連結貸借対照表のポイント

##### 資産の部

現金及び預金が325,746千円、原材料及び貯蔵品が108,789千円、それぞれ減少しました。

##### 負債の部

電子記録債務が245,602千円、支払手形及び買掛金が67,355千円、それぞれ減少しました。

##### 純資産の部

利益剰余金が209,699千円減少しました。

#### 連結損益計算書のポイント

売上高の減少は、直動機器について需要の回復の遅れや中国市場の受注停滞の影響を受けたことにより減少したことが要因です。さらに、直動機器の大型ストレート形番の棚卸資産の評価損を計上したこと及び、株主優待費用を新たに計上したことで、経常損失となりました。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 仕入債務の減少等により、資金が減少しました。
- 固定資産の取得により、資金が減少しました。
- 借入金の返済により、資金が減少しました。

#### 連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産は、利益剰余金が減少しました。

# 株式の状況

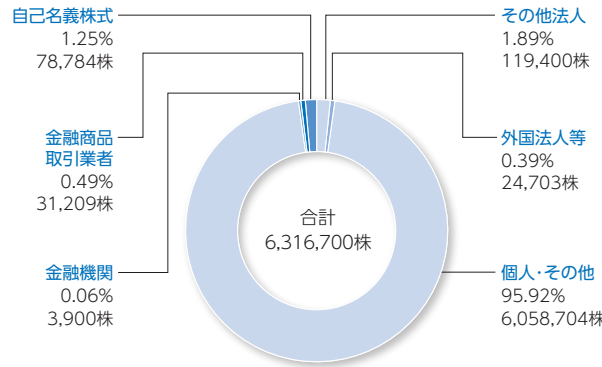
## 株式の状況 (2025年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 ..... 18,720,000株  
発行済株式の総数 (自己株式78,784株を除く) ..... 6,237,916株  
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,299	20.83
尾崎 文彦	1,188	19.05
小川 由晃	103	1.65
岸本 清	75	1.22
三浦 美保子	70	1.13
高水 永夫	67	1.07
南 秀嗣	57	0.91
THK株式会社	50	0.80
ヒーハイト社員持株会	44	0.71
尾崎 沙織	21	0.34

(注) 1. 持株比率は自己株式 (78,784株) を控除して計算しております。  
2. 当社は、自己株式を78,784株保有しておりますが、上記大株主から除いております。

## 所有者別株式数 (2025年3月31日現在)



## 第63期定時株主総会に関するご報告

2025年6月26日開催の第63期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記のとおりです。

記

### 報告事項

第63期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。  
期末配当金は、1株につき1円となります。

### 第63期期末配当金のお支払いについて

本総会の決議により、第63期期末配当金は1株につき1円と決定いたしました。

- 口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第63期期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。株式数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 口座振込をご指定いただいていない株主様は、同封の「第63期期末配当金領収証」により、払渡期間中 (2025年6月27日~2025年7月31日) に最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で配当金をお受取りください。

## 株主優待制度

100株以上株式を保有していただいた株主様に株主優待品 (QUOカード3,000円) を贈呈

- ※割当基準日 (3月31日) の株主名簿に記載されていることが条件です。  
発送予定.....6月下旬発送
- ※お届け先は、割当基準日 (3月31日) の株主名簿に登録されているご住所になります。
- ※転居等によるご住所の変更は、株式を管理されている口座管理機関 (証券会社等) において速やかにお手続きください。

# 会社の概要

## 会社の概要 (2025年3月31日現在)

社名 ..... ヒーハイト株式会社  
本社 ..... 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1  
埼玉工場 ..... 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1  
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,997㎡]  
TEL 049-273-7000 (代表)  
FAX 049-273-7001  
秋田工場 ..... 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山山下田454番地  
(豊岩工業団地内)  
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]  
TEL 018-828-0111  
FAX 018-828-1192  
海外 ..... 赫菲 (上海) 軸承商貿有限公司 (中華人民共和国)  
設立 ..... 1962年 (昭和37年) 7月19日  
資本金 ..... 732,552,000円  
従業員 ..... 96名 (49名)  
(外、平均臨時雇用者数)

## 役員 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	佐々木 宏行
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

## 株主メモ

事業年度 ..... 4月1日~翌年3月31日  
定時株主総会 ..... 毎年6月  
期末配当金受領株主確定日 ..... 3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)  
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
電話 ..... 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
上場金融証券取引所 ..... 東京証券取引所 スタンダード市場  
証券コード ..... 6433  
単元株式数 ..... 100株  
公告の方法 ..... 電子公告の方法により行う。  
公告掲載URL ..... <https://www.hephaist.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式のお手続きに関するお問い合わせ】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター  
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711  
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00~17:00

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- ※ 本誌には、ヒーハイトの将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

以上